

定数及び選挙区に関する各会派ヒアリング事項に関する意見

会派名 日本共産党

1 総定数について

総定数をどうすべきかお聞かせください。

また、具体案があればお聞かせください。

<参考>選挙区及び定数に関する在り方調査会報告書（以下「報告書」という。）において、「総定数については、一般論として、人口の減少に沿って削減することを基本とすること。ただし、議会の費用を考慮することで総定数を調節していくことはあり得る（P48）」等とされています。

- ・現下では、今以上増えるという方向はない。
- ・「減らすにはどうしたらよいか」ということでなく「1票の格差をどう縮めるか」「一人区・二人区は避ける」ということの中で調整していく。
- ・議会経費削減のためにすることの一番が議員数減ではない。
- ・議員数や議員歳費を減らせばいいという論理をとった場合、どこまでなら許されるのか？際限なく議会の否定につながる。

2 選挙区の区割り及び選挙区ごとの定数について

(1) 任意合区（強制合区）について

鳥羽市選挙区は、総定数 51 人以上の場合は任意合区（公職選挙法第 15 条第 3 項）の対象、総定数 50 人以下の場合は強制合区（同条第 2 項）の対象となりますが、どうすべきかお聞かせください。

また、合区について具体案があればお聞かせください。

<参考>報告書において、「選挙区の区割りにについては、地域の特性を尊重した選挙区とすること（P48）」等とされています。

- ・「選挙区の区割りにについては、地域の特性を尊重」を理解した上で、生活圏を十分考慮したうえで、1人区を回避するために合区にすることもありえる。

(2) 一人区について

人口比例の原則に従って各選挙区に定数を配分した結果、定数1となる選挙区（参考資料の「人口割実定数」欄参照）について、どうすべきかお聞かせください。

また、具体的な案があればお聞かせください。

＜参考＞報告書において、「一人区が発生した場合は、合区等により回避するよう努めること（P48）」、「一人区については、無投票当選を招きやすいことから、人口比例の原則に従った結果、選挙区の定数が一人になった場合については、合区を行うなどすることで可能な限り回避すべきである。ただし、一人区を解消する手段として、当該選挙区の定数を二人にすることは、投票価値の平等を踏まえ慎重に判断すべきである。（P37）」等とされています。

- ・1 人区を回避するための合区については、候補者にとっては対象地域が広がることでの大変さはあるが、選挙人にとっては選択肢の広がりや多様意見の尊重という意味で大切である。
- ・人口動勢が今後どうなるか未知であるが、今だけでなく今後しばらくは一定の方向性を持つべき。今、合区を取り入れることでしばらくは安定する。

(3) 特別の事情による定数配分について

ア 特別の事情により人口割実定数を変更する選挙区について

人口比例の原則に従って各選挙区に配分した定数を増減する選挙区（参考資料の「定数増減」欄参照）について、どうすべきかお聞かせください。

また、具体的な案があればお聞かせください。

＜参考＞報告書において、「選挙区ごとの議員定数は、原則として、人口比例とすること（P48）」、「人口比例以外の基準も用いて定数配分を行う場合には、地域の状況に応じた合理的なものであり、かつ、おおむね人口を基準とする範囲内にとどめるとともに、その必要性及び合理性を県民に説明すること（P49）」等とされています。

- ・1 票の格差を2程度まで認める中で、合区も取り入れればある程度包含される。

イ 一票の較差について

特別の事情により人口割実定数を変更する場合、変更後の一票の較差（参考資料の右端の「一票の較差・対最大値」欄参照）について、どうすべきかお聞かせください。

また、具体的な案があればお聞かせください。

<参考>報告書において、「一票の較差については、2倍未満とし、地域間の均衡にかかる特別の事情があるときでも、おおむね人口を基準とする観点から、最大でも3倍未満とすること（P49）」、「地域間の均衡を考慮する場合であっても、考慮した結果生じる一票の較差が人口比例の原則によって算出された定数における一票の較差と大きく乖離することは避けること（P49）」「具体的な検討に当たっては、現在の選挙区を前提とするならば、較差が2倍以上となっている選挙区については、当該選挙区の定数の減少又は合区による選挙区の人口の増加によって適正化させることが望ましい（P49）」等とされています。

・報告書に同意。

ウ 逆転現象について

特別の事情により人口割実定数を変更する場合、選挙区間の投票価値の逆転現象（参考資料の下段「逆転現象の確認」参照）について、どうすべきかお聞かせください。

また、具体的な案があればお聞かせください。

<参考>報告書において、「逆転現象については、解消すること（P49）」等とされています。

・解消するべき。

3 その他

上記以外に、定数及び選挙区に関するご意見があればお聞かせください。
また、具体的な定数及び選挙区案があれば、ご提示ください。

・極論で言えば、SNS などの発展もあり選挙の形が変わっていく社会の中、
全県 1 区、あるいは国政選挙区割りくらいまで大きな区割りにすることも
将来的にはあり得るだろうが、過渡的、現下での課題解決には、2 名以上の
選挙区にすることが望ましい。

・桑員地区・三泗地区・鈴亀地区・津地区・南勢志摩地区・松阪地区、東紀
州地区の区割りで考える。